

山善福祉会の回答

- ① 隣接する小学校とは、今までのように連携できるのでしょうか？

小学校区が違う子ども達でも、小学校に慣れるという言う意味で、とても良いことだと思っています。

(山善の回答)

開園予定の園は「幼保連携型認定こども園」になり 0 歳児～就学前の園児が利用します。幼保連携型認定こども園教育・保育要領にありますように、園の生活、遊びを通じて成長していく姿を園と小学校がともに見守る環境が整っているのは大変恵まれていると感じております。

朝日ヶ丘幼稚園のホームページには小学校の先生が来校し子どもたちへ「小学校ごっこ」されていたり、さまざまな行事に招待され「わくわく」する子どもたちの写真を拝見し、子ども自身が期待や夢を持てるような取り組みをされており心が温まりました。

芦屋市の学校教育課と調整したうえで、具体的な連携方法について小学校とお話をしながら進めます。

- ② 地域行事などに、園でも積極的に参加するように声掛けをしてもらえるのでしょうか？

また地域の行事案内を園児たちに配布していただくことや、行事案内のポスターの掲示などお願いできるのでしょうか？

(山善の回答)

コミスク活動を通じて地域の交流に尽力されていると拝読しました。

認定こども園は保育園部分と幼稚園部分の園児がともに生活しております。

積極的な声掛けについては、保育園部分の園児の保護者は就労をしており、平日だけでなく日・祝の就労等、勤務形態が様々であると予想されます。

就労により地域行事の開催日時によっては参加が難しい方がいる中で、園側が保護者へ声掛けをするか否かを判断するのは公平性からも控えたいと考えます。

積極的な声掛けは控えさせていただきますが、地域で子どもに関わる活動を知ることや参加することは、保護者にとっても良いことですので、案内やポスターは事前に確認はさせていただきますながらになりますが、掲示することを考えています。

- ③ 施設の面積がコンパクトに設計されているようですが、ホールなど地域の人が利用することはできるのでしょうか？

(山善の回答)

ホールで 0 歳児～5 歳児が保育・教育活動等を行う中で、内容や日程等は

調整しながらですが、就労前の子どもや保護者、出産前の保護者向けの取り組みは考えております。

ただ、子どもに纏わらないイベント等の開放等は難しいと考えております。

建物全体の面積について

	既存	計画(ガレージを除く)
合計	約 1,377 m ²	約 1,300 m ²

効率的に部屋を配置することで廊下等の面積が小さく、全体の面積もコンパクトになります。

3歳～5歳の保育室と遊戯室の面積について

	既存(210人)	計画(92人)
保育室	約 486 m ²	約 220 m ²
遊戯室	約 202 m ²	約 100 m ² (地上1階) +約 75 m ² (地上2階)
合計	約 688 m ²	約 395 m ²
1人当たりの面積	約 3.27 m ²	約 4.29 m ²

定員に対しての面積は十分に確保しています。

1人当たりの面積基準

幼保連携型認定こども園の基準: 1.98 m²

※計画部分はおおよその面積であり、今後変更になる可能性があります。

※旧朝日ヶ丘幼稚園の定員については、学級数を6学級とし、1学級あたりの人数を35人として計算した場合の値です。

- ④ また、ホールは、大人だと何人ぐらい座ることができるのでしょうか？

(山善の回答)

通路や活動スペースを設けずにすべてのスペースに大人が座った場合、地上1階の遊戯室に約130人、地上2階ホールに約100人です。

- ⑤ 病児保育もされているようですが、子どもたちを隔離したお部屋で預かるお部屋はあるのでしょうか？

(山善の回答)

当園で予定している病児保育は、園児が保育中に体調を崩した際に保護者が迎えに来るまでの保育になります。お部屋は通常の保育室とは別の医務室で保育をいたします。

ここからは要望になります。

- ① 駐輪スペースが 10 台ほどですが、少し少ないように感じます。

もし私が働く親でしたら、園まで子どもを自転車に乗せてきて、預けたあとはそのまま駅まで自転車でいきます。

そのような方が 10 人程度とは思えません。

(山善の回答)

10 台は決定ではありません。図面では駐輪場の位置を示す意味で自転車を示しております。実際にはこの左右のスペースにも自転車を置くことが可能です。具体的な台数については頂いた意見を踏まえ、行政と協議し、設置場所や台数の検討を行います。

- ② 2 階から屋外避難階段が園庭にありますが、これはスロープはないのでしょうか？

荷物など移動時に、エレベーターだけでは足りないこともありますし、車いす、台車などの利用の場合もスロープはあったほうが良いと思います。

(山善の回答)

スロープにすると約 45mの長さが必要になり、園舎側に配置した場合、法規的問題が生じます。園庭側に配置した場合、死角が生じ安全性の問題があります。

また、長いスロープは子どもが走って転倒する恐れがあり安全管理の問題で難しいと判断しております。

- ③ スロープのほかに、避難用としても使える滑り台があると、子どもたちは楽しいと思います。

(山善の回答)

避難用滑り台の子どもたちの利用については行政との協議に関わるため、頂いた意見を参考にいたします。